

科目名		職業性腫瘍学特論	
科目責任者	藤澤 浩一	(職業性腫瘍学 教授)	
担当者	李 云善	(職業性腫瘍学 准教授)	
開講時期:	1年次後期	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職業がんについて、歴史、原因物質、発がん機構を学ぶことによって理解を深める。また、発がん性を予測する試験、発がん性化学物質の取り扱い、管理について学び、職業がんの予防対策について理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職業がんの歴史を説明できる。 2) 職業がんの代表的な原因物質について説明できる。 3) 発がんの一般的な機構について説明できる。 4) 遺伝子DNA損傷について説明できる。 5) DNA損傷の修復、突然変異について説明できる。 6) 発がん物質の体内動態(吸収・代謝・蓄積)について説明できる。 7) 発がん性を予測するin vitro試験について説明できる。 8) 発がん性を予測するin vivo試験について説明できる。 9) 発がん性の定量的評価について説明できる。 10) 発がん性物質の定量的リスク評価について説明できる。 11) 発がん性物質の作業環境管理、作業管理について説明できる。 12) 健康管理、衛生教育について説明できる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1・2	職業がん I	職業がんの歴史	藤澤、李
3～6	職業がん II	職業がんの原因物質	藤澤、李
7・8	発がん機構 I	発がん機構概論	藤澤、李
9・10	発がん機構 II	発がん物質によるDNA損傷	藤澤、李
11・12	発がん機構 III	DNA修復	藤澤、李
13・14	発がん機構 IV	突然変異	藤澤、李
15～18	発がん機構 V	体内動態(代謝・吸収・蓄積)	藤澤、李
19・20	発がん性スクリーニング I	in vitro がん原性予測試験	藤澤、李
21・22	発がん性スクリーニング II	in vivo がん原性予測試験	藤澤、李
23・24	がん予防 I	発がん性評価	藤澤、李
25・26	がん予防 II	リスク評価	藤澤、李
27・28	がん予防 III	発がん性物質の管理	藤澤、李
29・30	がん予防 IV	リスクコミュニケーション	藤澤、李